

＜ もくじ ＞	
1. 長期計画検討委員会報告会「シニア社会学会の現状と課題」の概要報告	1
2. 研究会からのお知らせ	2
3. 研究会からの概要報告	3
4. 事務局からのお願い	4

## 1. 長期計画検討委員会報告会「シニア社会学会の現状と課題」の概要報告

2021年2月に発足後、毎月1回の会合での審議を重ねてきた長期計画検討委員会は、2022年3月13日に報告会を開催しました。2021年5月に実施した会員アンケートを踏まえ、中長期的展望と課題をまとめた報告内容となりました。

### テーマ：シニア社会学会の現状と課題－会員アンケート調査結果より－

1) 日時：2022年3月13日（日） 14:00～16:00

2) 開催方法：オンライン開催 参加者 27名

3) 報告者（報告順）：

森 やす子 「全体紹介・前回会員アンケートについて」

本田 恭助 「アンケート・定量部分から」

八巻 睦子 「アンケート・定性部分から」

富田 光則 「展開すべき課題考察」

安田 和紘 「活動方針の考え方」

小平 陽一 「地域のシニアの立場から」

中村 昌子 「地域活動の担い手の立場から」

長田 攻一 「次年度からの活動計画案」

4) 概要：

- ・「全体紹介・前回会員アンケートについて」：2007年度と2021年度の会員構成の違いや、2007年度に実施した会員アンケートから見えた入会動機の変化について説明しました。
- ・「アンケート・定量部分から」：会員が高齢化、入会者数が低位推移、会員の特色は多様なキャリア、これまでにない取り組みに期待し気軽に参加できる雰囲気が見られるとの分析が述べられました。
- ・「アンケート・定性部分から」：学会のイメージは総じて肯定的だが、アカデミックさやテーマの偏り、逆にテーマが広がりつつある点に関する戸惑いもある。入会による新たな出会いと交流、専門知識・情報が得られる点が評価されているとの分析が述べられました。
- ・「展開すべき課題考察」：アンケートの「シニア社会学会の現状/期待イメージ」への回答から、シニア社会学会のアピールポイント・問題意識を抽出し、学会のパワー（経営資源）の再構築、学会の提供価値の創造・再整理⇒特徴づけ、魅力づくりが求められていると方向性を提示しました。
- ・「活動方針の考え方」：アンケート調査から活動方針「老若男女共同参画社会の実現」を導くにあたっての環境変化と環境要因を列挙し、実現への指針として、既成概念を払拭して取り組むこと、主役交代を意識し役割分担意識の切り替え、シニア社会学会ならではの協働の場を設定が必要と提案しました。
- ・「地域のシニアの立場から」：講師を務めている「市民大学」と交流の提案、シニア期のジェ

ンダー問題、そして、シニア世代も、現役世代も、若者世代も共通するテーマがあり、暮らしから考える視点が重要と述べました。

- 「地域活動の担い手の立場から」：地域コミュニティでの活動、シニア社会学会での活動経験から得られたこと、早期退職後は、現場⇄支えになる研究テーマをいくつかもちながら活動に参加していると述べました。
- 「次年度からの活動計画案」：会員の目指す社会関係資本：「リエゾン（橋渡し）」力という言葉を使って、下の図を示し、「学びと支援」「学びと依存」の双方向的矢印の関係が、循環的に機能するためには、共感力、理解力、コミュニケーション力、自己反省力をしるべきような「リエゾン力」が必要ではないか、と述べました。



そして、次年度からのテーマと中長期的展望を示しました。

本報告会の内容は2022年6月に発行されるエイジレスフォーラム20号で詳しくご紹介いたしますので、是非ご覧ください。

## 2. 研究会からのお知らせ

### (1) 第20回「YNS やまぶき任意後見サポート会」開催のお知らせ

- 1) 日 時：2022年3月26日（土） 17：00～20：00
- 2) 場 所：荒川区町屋2-21-2 フレスコ町屋 201
- 3) 発表者：鈴木 眞澄及びその他 YNS やまぶき任意後見サポート会
- 4) テーマ：認知症と任意後見制度

劇団「<sup>びしょうざ</sup>B笑座」第7回。

「私にとって 認知症とは」です。

認知症を体験することで、認知症に学び、ビジュアルリゼーションすることで新たな発見が生まれます。尚、希望者は「回想」を行うために冊子『心づもり』を提供しています。

劇団員募集しています。コロナ禍ということで風間に行います。Zoomの参加もできます

※お問い合わせは、鈴木 眞澄 (mme\_masumi@yahoo.co.jp) までお願いいたします。

### (2) 第31回「ライフプロデュース」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2022年4月26日（火） 17：30～19：30
- 2) テーマ：

#### ① テーマ1

（仮）あなたにとって実践できる身近なSDGsとは。具体的行動指針をそれぞれ紹介

#### ② テーマ2 読書会

第30回の続き。山田昌弘氏 2021/12/11 の日本経済新聞記事で紹介された「男らし

さの呪縛を解こう。生きづらい男性のための4冊」の中から選択し意見交換。(2回目)  
※ 参加ご希望の場合は、前日までに中村 nakamurayoshiko6@gmail.com までお気軽にご連絡ください。

### (3) 第140回「社会保障」研究会開催のお知らせ

1) 日 時：2022年4月27日(水) 18:00~20:00

2) 報告者：鄭 鐘和(韓国・三育大学教授)

3) テーマ：「韓国の国民年金改革の動向と課題」

4) Zoom でいたしますので、参加を希望される方は、阿部と小島にご連絡ください。

[阿部富士子 fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp](mailto:fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp)

[小島みさお kojima.misao01@gmail.com](mailto:kojima.misao01@gmail.com)

※ ご質問がありましたら、阿部(旧姓佐藤)まで

### (4) 第78回「シニア社会のリテラシー」研究会のお知らせ

3月24日(木) 開催予定の例会は、新型コロナウイルス感染予防のため、延期致します。

次回は、4月28日(木)を予定しています。

※ お問い合わせは、島村(ken-sima1941@jcom.home.ne.jp)までお願い致します。

## 3. 研究会からの概要報告

### (1) 第28回「社会情報」研究会の報告

1) 日 時：2022年2月16日(水) 15:00~17:00

2) 場 所：Zoom 開催

3) テーマ：監視資本主義：人類の未来を賭けた闘い」第3回(齋田さん)

ショシャナ・ズポフ(著)、野中 香方子(翻訳)、2021、「監視資本主義：人類の未来を賭けた闘い」東洋経済新報社。

#### 第三部：第3の近代のための道具主義の力

●プライバシーの意義＝人間の形成に不可欠な「聖なるもの」

著者は「プライバシー」には私的生活以上の価値があると考察を展開。その「人間性の拠り所」が失われる危機を提示。

- ・監視資本主義は「家と外界と境界」を消滅させることで利益を稼ぐ  
「隠すものが何もないのであれば、あなたは無に等しい。」(ガストン・バシュラール「空間の詩学」)
- ・ビッグ・アザー(監視のためのシステム)は「家と外界の境界」を消滅させる
- ・【力のニューフロンティアとなった自由の聖域での正義】
- ・聖域の維持＝監視資本主義に対抗

#### 結論：私たちの権利

●監視資本主義は資本主義なのか？ 3つの乖離・逸脱

監視資本主義は市場資本主義の歴史から「3つの乖離・逸脱」乖離。がある

1) 何ものにも束縛されない自由と特権的な知識の所有を主張する

2) 人々との有機的な互惠関係を放棄する

3) 「巢の中の生活」という幻影に、集産主義的な社会観が隠れている

- ・今の状態は当たり前ではない/容易に時間経過で変化する……だから変化させよう！
- ・本来のデジタルの夢に戻ろう！「デジタル機能によって知識を民主化し、よりよい生活を実現する」という壮大な約束を監視資本主義は反故にしている。(森 記)

### (2) 第29回「ライフプロデュース」研究会の報告

1) 日 時：2022年2月22日(火) 17:30~19:30

2) 場 所：Zoom 開催 参加者7名

3) テーマ:「第29回 ライフプロデュース研究会」は、冒頭、2022年2月22日、ゴロが良い開催日に87回目の誕生日を迎えられた参加者(女性)に一言ずつ、お祝メッセージを伝え、向学心を保ち続ける秘訣などをお聴きした。

●前半は、「One welfare」(人間と動物と環境が密接に関係している相関関係にあるという概念)のご紹介。動物虐待が、凶悪犯罪や子ども虐待やDVと密接に関係しており、動物虐待に注意を払うことにより、対人暴力を予防・早期発見でき、逆もあり得る。よって、社会福祉関係者にとっても、動物保護関係者にとっても実践に役立つ知見として注目されている。しかしながら、まだまだ、「動物」という課題が軽んじられがちである。人間・動物・環境の状態は表裏一体性を持ち、それを整理する概念こそが「One Welfare」であることを、海外情報を交え、幾つかの側面から情報共有し、意見交換した。

●後半は、3回に亘り、継続して読み解いてきた【THE LONELY CENTURY】読書会(最終回)

・第8章:デジタルの鞭:アルゴリズム、AI・電子機器による監視、ギグエコノミーとギグワーカー、法律・医療・金融などの分野でロボットの進出などテクノロジーの進歩の中、著者は、孤立感や孤独を感じさせない世の中をめざす為に、個人、政府、雇用者、企業で、AIと自動化技術の進歩とその活用の工夫が大切であると述べている。総じてこの本は難解であり、自分だったら選ばないこの本を、研究会で取り上げて読むことはとても良い機会だった。

(担当:清水)

・第10章:孤独ビジネス:商業化されたコミュニティが個人の孤独を緩和し、社会の繋がりを再建する役割を果たすには、恩恵を受けるのが裕福な人たちに偏りがちなので、もっと幅広い所得層を対象にするべきである。また、我々は自分自身を、消費者ではなく市民に、傍観者ではなく積極的な参加者に変えていくことが大切である。そして最終章第11章で、「孤独の世紀の解決策は、私たちがお互いに寄り添うことに尽きるのかもしれない。」と結論に至るのだが、この点については、少し拍子抜け且つモヤモヤ感が残るものの、著者は、章ごとに問題提議し、我々が行動の一步をとる道標を示しているのかもしれない。

(担当:中村)

※3月22日(火)に開催した第30回の概要報告は次回ご報告致します。

### (3) 第19回 「YNS やまぶき任意後見サポート会」の報告

1) 日時:2022年2月26日(土) 17:00~20:00

2) 場所:荒川区町屋2-21-2 フレスコ町屋 201

3) 発表者:鈴木 眞澄及びその他 YNS やまぶき任意後見サポート会

4) テーマ:認知症と任意後見制度

劇団「<sup>びしょうざ</sup>B笑座」第6回。

「人形劇」も混ぜて、楽しく寸劇を行いました。「朗読」も加わりました。盛り上がる一方です。Zoom参加者も増えました。今後を活かしたいと思います。

## 4. 事務局からのお願い

### <会員情報変更時のご連絡のお願い>

コロナ禍中、各種ご連絡をメールや郵送で行うことが多くなっております。会員情報(氏名・住所・eメールアドレス等)に変更が生じた場合は、速やかにご連絡くださいますようお願いいたします。なお、電話による連絡はご遠慮いただいております。シニア社会学会事務局あてに、eメール: jaas@circus.ocn.ne.jp 又は郵送いずれかの方法にてお知らせくださいますようお願いいたします。

### <4月JAAS Newsの発行日>

次回JAAS News第272号の発行日は、4月20日(水)です。原稿をお寄せ下さる方は、4月

13日（水）までに、学会宛のeメール添付にてお願いいたします。

### <JAAS News 編集レイアウトをお手伝いして下さる方募集>

毎月お送りしているJAAS Newsは、原稿が集まった後、Microsoft Word を用いて編集・レイアウトを行い、PDF 仕様で皆様にお届けしています。ドラフト作成までは、事務局内で持ち回りで行っていますが、編集・レイアウトを担う人材が限られており、業務集中をきたしております。

会員の皆様のなかで、Microsoft Word を用いた編集・レイアウトの経験がおありの方に、無償ですがお手伝いをお願いできたらと思っております。手伝いをしてもらいたいと思われる方がいらっしゃいましたら、その旨、シニア社会学会事務局あてに、eメール: jaas@circus.ocn.ne.jp にてご連絡ください。よろしくお願いいたします。

シニア社会学会 事務局一同

一般社団法人シニア社会学会・事務局（水、および月または金オープン）  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-27-4 ナカヤビル202  
電話&FAX：(03) 5778-4728  
eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp URL：http://www.jaas.jp/